

IRCCS-GTR-RCMS セミナー

大栗 博毅 博士

東京大学大学院 理学系研究科 教授



天然物の骨格多様化合成を基盤とする中分子科学の新展開を目指して*

*本セミナーは「有機化学特別講義A～Eおよび[G30]化学特別講義2」の一部です。

2025年11月21日(金) 16:30-18:00
野依記念物質科学研究館2F 講演室

講演要旨: 天然物は、自然が長い進化の過程で生み出してきた高度に洗練された分子群であり、その多様な骨格構造や特異な立体化学は、創薬をはじめとする幅広い科学分野において豊かなインスピレーションを与えてきました。本講演会では以下の話題を提供します。(1) インドールアルカロイドやエクテナサイジン類の骨格を出発点とする「骨格リデザイン戦略」による合成化学的アプローチ；(2) 骨格多様化・元素置換・立体化学改変を自在に展開することで、標的タンパク質に対する高い分子認識能や選択性を備えた中分子群の創製を目指す研究；(3) 二量体型アルカロイド骨格を基盤とした光機能性分子の創製など、創薬科学および分子機能材料科学のフロンティア開拓を目指したアプローチ。

Contact: 斎藤 進 saito.susumu.c4@mail.nagoya-u.ac.jp